

1. 団体名 **秩父明信本館**

2. 代表者 山岸 磯廣 ・ 指導主任兼事務局 鈴木 誠

3. 会員数 一般 男子 6名 ・ 女子 1名

児童生徒 男子 小学生 6名・中学生 7名・高校生 6名

女子 小学生 2名・中学生 5名・高校生 6名

4. 稽古日 毎週 火曜日・木曜日・土曜日

時間 午後6時15分～8時

場所 秩父市中町21-5 明信本館

5. 団体の歴史

明信館道場、小野派一刀流高野苗正道場は当初秩父神社境内にあったとされる。大正中期に宮側町に移された。

昭和5年 剣聖高野佐三郎範士の光栄を後世に残し、剣道奨励のために、今宮神社宮司 塩谷啓山・長谷川巳之吉等の発起により、現在の明信本館道場の建設を見た。

初代館長に佐三郎の長男 泰正教士が指導された。

敗戦後、長谷川巳之（埼玉剣連名誉会長）の中立ちにより昭和40年10月1日に秩父市指定史跡となり保存されている。

当時の指導者・役員

会長 内田和助（明信本館 館長）・酒井塩太・新井一夫・福島与一・川田喜一郎・高田繁・飯島重弘・磯田中・赤岩弘・根岸光男・岩田彦治・田島義六・磯田平・小高大吉・熊倉千代吉  
池田克生（会計）・岩田信行・松本和良・川田行男・持田功

少年部の指導は剣友会員全体で指導に当たってきたが、昭和41年～58年 内田擁一師範が主任として指導されてきた。

また、昭和46年9月 明信本館 明友会保護者会発足。初代会長に宮前栄蔵氏が就任。

内田擁一先生が突然亡くなられ、峰岸・松本・新井美和子と引き継がれた。

平成17年4月 行政改革により大滝村・荒川村・吉田町・秩父市が合併し、広範囲の秩父市になり、秩父市剣友会は解散し秩父剣道連盟一体化となった。

明信本館道場は明友会の子供達が残り、会長 飯島重弘氏を中心に他数名が子供達の指導にあたった。平成18年 飯島重弘氏が逝去され、平成18年9月から代表 山岸磯廣・副会長兼事務局 新井美和子・松本和良らに引き継がれた。

平成20年より指導主任 鈴木誠・事務局兼会計 河端茂となり、鈴木誠を中心に会員全体の指導を今現在遂行中である。指導方針として、「克堪克忍」を掲げている。

“剣道の修行は、この堪忍の連続である。修行には忍耐は必要不可欠。それでも、ただ忍だけではなく、よく耐えよく忍ぶことが肝要である”。剣聖高野佐三郎先生の出生地であり、道場であることを忘れてはならない。